

## 指定管理者制度活用事業 評価シート

### 1. 基本事項

施設名称	川崎市北部地域療育センター	評価対象年度	平成28年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 同愛会 ・代表者名 理事長 高山 和彦 ・住所 横浜市保土ヶ谷区上菅田町1749	評価者	障害計画課長
指定期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

### 2. 事業実績

利用実績	通園定員 60名      通園契約児 242名(前年度234名) 診療所利用児数      年間延べ5,810名(前年度 4,640名) リハビリ・検査実施数 年間延べ6,167名(前年度 4,658名)		
収支実績	<b>【収入】</b> ○給付費等      110,995千円 ○医療費等      38,546千円 ○指定管理委託料 286,914千円 ○その他          6,978千円 計      443,433千円	<b>【支出】</b> ○人件費      299,717千円 ○事務費      48,183千円 ○事業費      24,884千円 ○その他      37,541千円 計      410,325千円	
サービス向上の取組	・併行通園クラスについては、保護者からの要望もあり、通っている保育園・幼稚園を集中的に訪問する期間を設定し支援を行ったことで、関係機関との一層の連携が行われた。 ・一層のサービス向上のためレイアウトの工夫を行った。外来診療と全体の受付を入口正面に変更したことで、防犯の強化とリハビリが受付、訓練が同じフロアで行えるようになったという利点があった。また、前年度に続き部屋の有効活用を検討し、保育室を増やすことで、受入れ人数の増加が可能となった。 ・第1・3土曜日の継続的な開所により、地域への開放がされ、また平日の来所が難しい方の参加が可能となっている。 ・通園送迎バスを4台とし、市運営時に比べ2台増やしたことで、利用者の送迎時間の短縮がはかられた。		

### 3. 評価 (評価段階:5～1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・内部、専門分野ごとのスキルアップ等多様な研修を実施、または参加し、支援の質の確保に努めている。 ・療育センターの特徴である複数の職種が連携したチーム療育を掲げ、利用者個々の特性に生かした支援を行っている。 ・療育の方法を現状に即して工夫し(併行通園児の対応)、関係機関との連携に努めている。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) ・利用料や給付費等の請求は、適切に実施されている。 ・概ね適切な会計処理により支出がなされている。 ・金銭管理や会計手続が適切に実施されている。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4	
	利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				

	<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支援、外来療育、通園等、各事業共に概ね仕様書等に基き実施されている。</li> <li>・第1, 3土曜日の開所を継続的に行っており、平日利用が出来なかった方への診察・インテーク面接・が可能となり、また、地域への開放もなされ、利用者へのサービス向上につながった。</li> <li>・今年度も施設内レイアウトを変更し効率的に部屋を活用することで、保育室の確保し、より多くの利用希望者の受入れが可能となった。また、受付を入口正面に変更したことで、防犯の強化とリハビリが1つのフロアで行えるようになった。</li> <li>・指定管理以前の事業を継続し、区役所・社会福祉協議会等、地域、関係機関との連携を密に行なった。</li> <li>・保護者の要望にも応える形で、併行通園クラスについては、前期・後期各3週間ずつ保育園・幼稚園の訪問期間を設定した。定期的に関係機関を訪問したことで、支援方法等が共有され、一層の連携がはかられた。</li> <li>・音楽活動「ドラムサークル」が通園だけでなく、地域の障害者施設、他の地域療育センターでも開催され、ドラムサークルを通じた関連機関との連携が一層行われた。</li> <li>・所長・園長保護者懇談会や利用者満足度調査の実施により、苦情・要望を聞く機会をもち、迅速に療育の質の向上に反映できるよう取り組んだ。</li> </ul>				
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
	<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の基準を踏まえ、常勤医師をはじめとした専門職(看護師、心理士等)が確保され、概ね仕様書上の必要な人員の配置が行われている。</li> <li>・「防災マニュアル」の見直しを行い、現状に即した修正を適宜行っている。</li> <li>・法令等で定められた、防災訓練が適切に実施され、実施後に課題の把握、改善が適切に行われている。</li> </ul>				
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	4	4
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
	<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内の定期保守点検や清掃、警備について、仕様書どおり実施されている。</li> <li>・施設管理については、専任の用務スタッフが随時点検・補修等を行っている。</li> </ul>				

#### 4. 総合評価

評価点合計	72	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A→E,標準::C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満  
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様書に記載された管理運営に関する基本的な考え方を踏まえ、適切な運営が実施されている。</li> <li>・土曜日(月2回)を継続的に開所することで、平日に来所が難しい家庭への配慮がなされており、また、地域への施設開放も行われている。</li> <li>・現状に即した療育の方法を工夫し、関係機関との連携もはかりつつ、子どもの年齢、障害特性に合わせたニーズへの対応がきめ細やかに行われている。</li> </ul>
---

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

適切なサービスの提供に向けた研修の実施等の人材育成及び防災等緊急時の対応、事故再発防止について、周知・徹底に努めること。
--